

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 4月18日

【評価実施概要】

事業所番号	2970102568
法人名	医療法人 田北クリニック
事業所名	医療法人田北クリニックグループホームあみ
所在地	奈良市二条町二丁目3-18 (電話) 0742-36-3166
評価機関名	奈良県国民健康保険連合会
所在地	橿原市大久保町302番1
訪問調査日	平成20年4月10日

【情報提供票より】(20年3月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年 3月15日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	24 人	常勤	16 人, 非常勤 8人, 常勤換算 24人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨ALC張り	造り
	3階建ての	1階 ~ 3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	126,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(500,000 円) 申込金25万円・保証金25万円	有りの場合 償却の有無	有 退居時25万円
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1500		円

(4) 利用者の概要(3月25日現在)

利用者人数	25 名	男性	4 名	女性	21 名
要介護1	2 名	要介護2	5 名		
要介護3	11 名	要介護4	6 名		
要介護5	1 名	要支援2			
年齢	平均 82.68 歳	最低	55 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	高の原中央病院、岡谷病院、ファミリー歯科
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、平城宮跡と道路を挟んで隣接し、四季折々の自然に触れることが出来ます。また、一見、商業地域の一角と見えますが、実際には、住宅地の中にあります。施設長は、「地球環境に配慮した生活」を意識され、3階建ての近代建築の中に、ソーラー発電と給湯、雨水貯水槽を設置されています。利用者の生活においても、安全への配慮から、国産の季節感のある食材で食事を提供されています。3階の各フロアーに、3つのユニットがあり、固定したスタッフと馴染みの関係を築きながら、それぞれに配慮された生活を送られています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>ホームの理念を文章の形で提示されていましたが、「分かりにくいのでは」との課題があり、検討された結果、「笑顔、笑声、笑心(えがお、えごえ、えごころ)」と集約されました。ホーム名の「あみ」のもつ「全ての人々が幸せに暮らせるように」という願いとあわせて、日々のケアに活かすべく、スタッフの共通認識となるよう努力をされています。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>施設長、管理者を軸に、各フロアーのリーダーがスタッフの意見や取り組みを汲み上げ、反映するよう取り組まれています。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議では、会議そのものの意義と役割、利用者の生活と運営の状況、外部評価の意義と実際の評価を公表して、意見交換されています。そこで出された家族の要望をケアに反映して、よりよいケアの実践に活かそうと意識されています。なお、現時点では、運営推進会議が家族会を兼ねた構成になっており、今後、行政や地域包括支援センターの参加を得て、より充実したものとなるよう期待します。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>行事の後に家族会や個別面談の機会が持たれています。日常的には、直接スタッフが話を聞き、連絡ノートへの記録、管理者に直接伝えて、極力要望などに応えるよう努められています。なお、ホームの広報紙づくりと職員異動のお知らせは今後の課題とされていますので、早い実現を願っております。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>日常的には散歩などで挨拶を交わされるほか、行事への招待、地域の行事への参加、今後、運営推進会議に複数の住民の参加を見込めるなど、少しずつではありますが、取り組まれています。今後、ホームのこともっと知ってもらえるよう広報活動などに取り組まれるよう期待いたします。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地球環境に配慮したケアを目指しておられ、ホームの名前「あみ」に由来されている「全ての人々の幸せ」と、3つの言葉(笑顔、笑声、笑心)に集約されたホーム独自の理念が作られています。		地域密着型サービスの特徴をこめた理念へとさらに発展されるよう期待します。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	利用者との朝の挨拶の中で、理念を分かりやすく砕きながら伝え、スタッフ一人一人が理解していくことを目指すと共に、利用者の心に届ける取り組みにもなっています。		
2. 地域との支えあい					
		地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域や幼稚園の行事に参加し、ホームの行事にも招待されていますが、まだ足踏み状態で、交流にまで至っていません。		ホームでは環境問題に関心を寄せておられ、石鹸の利用、リサイクルなどの取り組みをされていますので、これらの取り組みを通じ、地域との交流を推進されてはいかがでしょうか。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価は、施設長と管理者、各フロア主任とのコアミーティング、フロア会議を活かして、全スタッフに報告し、改善に向けて検討する等の取り組みが見られます。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、会議そのものの意義と役割、利用者の生活と運営の状況、外部評価の意義と実際の評価を公表して、意見交換されています。そこで出された家族の要望をケアに反映して、よりよいケアの実践に活かそうと意識されています。		現時点では、運営推進会議が家族会を兼ねた構成になっており、今後、行政や地域包括支援センターの参加を得て、より充実したものとなるよう期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	開設時から、市の担当課とは連携を密にしておられ、ホームの直面している運営や課題の解決に向けて相談に乗ってもらよう取り組まれています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月定期的にスタッフからの「手紙」で利用者の様子を知らせ、面会がある家族には面会時に直接話をしたり、情報を提供されています。また、来られない家族には郵送で、状況に応じて電話やFAXで報告されています。		ホームの広報紙づくりと職員異動のお知らせは今後の課題とされていますので、早い実現を願っております。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	行事の後に家族会や個別面談の機会が持たれています。日常的には、直接スタッフが話を聞き、連絡ノートへの記録、管理者に直接伝えて、極力要望などに応えるよう努められています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や退職時のダメージを防ぐため、基本的には、各ユニットのスタッフを固定し、構成的にも常勤中心にされていますが、代わる場合に備え、スタッフが少しずつ各フロアを異動して、日ごろから全フロアのユーザーと馴染みの関係作りに努められています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者や、職員は段階に応じて、外部の研修を受講されています。また、新任職員は1日目は管理者から直接指導を受け、以後は各フロアで実地研修を受けることになっています。		常勤、パートに関わらず、ケアのスキルアップのための研修の機会をもたれるよう期待いたします。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームでの生活が困難だった利用者の受け入れをきっかけに、交流が始まり、次回はこちらから訪問される計画をたてられています。		他のホームを知ることで、相互に学び合える機会となりますので、さらに回数を重ね、交流がサービスの質の向上につながりますよう期待いたします。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用希望があった場合、ホームで、他の利用者やスタッフと一緒に過ごしなが、徐々に馴染めるよう工夫されています。また、体験利用をし、継続して利用という対応もされています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしなが喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の得意とされていること(編み物など)をスタッフが教えてもらったり、食材の知識や調理なども知恵を借りて、一緒に生活する関係が作られています。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の生活のリズムや行動傾向を把握し、動きや表情を見て、声を掛け気持ちに沿うようなケアを心がけられています。家族との情報交換や本人のサインを読み取る努力をされています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用時の家族や関係機関(病院など)からの情報収集とアセスメントに加えて、利用後の本人・家族からの要望や思いをスタッフなどの直接の会話や連絡から反映させるよう努められています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月1回カンファレンスを開いて、時々課題を検討しておられます。介護計画の見直しは、初回は3ヵ月後、以後、6ヶ月ごと見直し、現状を反映したものとなるように作成されています。また、それ以前に変化があれば、その都度意見を集約して見直しされています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	管理者を含め2名が看護師で、管理栄養士も勤務している条件を活かして「臨終は病院で」を原則としながらも、医療面の連携とろみ食等ギリギリまでホームでの生活を支援しております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	法人代表者が医師であることから、利用時の説明で、全員が毎週1回理事長による回診を受けることにされています。		利用時に説明し了解を得ておられますが、本人や家族の馴染みの「かかりつけ医」や希望される医療機関の受診について、選択の余地をもたれては如何でしょうか。
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用時点で、「ホームでの終末」は行わない旨、説明し納得を得るようにされています。状態が悪くなれば家族と話し合い、管理栄養士の指導や看護師によるスタッフへのフォローによって、ギリギリまでホームで生活し、最後は病院でという方針を共有されています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	管理者がフロアーをまわり、言葉かけや介護の様子をみたり、またスタッフ間で注意しあうようにして、意識的にプライバシーを損ねることが無いよう努力されています。また、記録などの個人情報は各フロアーにあるスタッフ室の書庫に管理されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の天気や気分に合わせて、散歩を希望される利用者は小人数で散歩に出かけておられます。また、ホーム内で過ごされる利用者には、転倒予防の為に、スタッフが寄り添うなど、個別ケアが図られています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者も一緒に準備や味付け配膳、片づけをされています。スタッフも同じ物を一緒に食べる他、安全に配慮し、国産の季節の食材を使用される等食事を楽しめるよう支援されています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日・時間帯は一応決められていますが、利用者の希望に沿って、必要に応じた随時対応も心がけ支援されています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事における、準備と片付けなどで役割を発揮されている他、習字などの趣味に参加される等楽しみの時間が持てるよう支援されています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	出来る限り毎日散歩にでかける等支援されています。		近隣の散歩に留まっていますが、大型店・デパートや保養所がある地域ですので、もう少し遠出が出来るかと、利用者の世界が広がるのではないのでしょうか。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	フロアーにおいては、鍵をかけておられません。2階3階の利用者は1人で階下に下ることが出来ない(階段とエレベータホールはフロアーとはタッチ式自動ドアで仕切られている)構造で、1階も玄関は自動ドアで仕切られています。		安全への配慮から、タッチ式の自動ドアにされていますが、利用者の自由な暮らしを支えるため、そのあり方を検討されてはいかがでしょうか。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	避難訓練を半年に1回され、また、防火管理者が全スタッフを対象に2回に分けて訓練を実施されています。次は、消防署からの直接指導をうけ、その際に、自治会からも参加してもらおう計画をもたれています。		備蓄については、各ユニットの冷凍庫に食材は確保されていますが、水については早急に対策を期待します。また、緊急時の近隣からの協力体制づくりは、自治会との防火訓練を予定しておられますので、今後に向けての努力を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事と水分の摂取は、記録し把握されています。職員はそれを共有されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングはゆったりとして、対面式のキッチン、利用者が一緒に作業をしやすく、調理の匂いが漂うよう配慮されています。1階にはウッドデッキがあり、外気の触れることが出来るよう工夫されています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れた家具やテレビ、椅子などが持ち込まれ、思い出の写真や普段からの衣類が使い勝手よく配置する等居心地よく過ごせるよう工夫されています。		